

# 平成 29 年度高尾台町会自主防災会

## 第 1 回実行委員会議事録

平成 29 年 4 月 19 日

清水義博 (IDPT)

開催日 : 平成 29 年 4 月 15 日 (土) 18 時 00 分～19 時 20 分

出席者 : 田形謙二 越野外美夫 堅田洋志 橋場健次 永山順一 清水義博 (敬称略)

欠席者 : 川合雅文 (会長)

司会進行 : 永山順一

議事録 : 清水義博

会議開催目的 :

第 1 回実行委員会は、新しく高尾台町会の副会長に就任された 3 人の皆さまに、高尾台町会自主防災会の歴史と活動を知って頂くことを目的に開催しました。

尚、実行委員会の開催自体が初めてであり、平成 28 年度 12 月役員会にて規約改訂を行い、運営を担う「実行委員会」が設置されました。

◆会議次第 :

1. 自主防災会メンバー自己紹介
2. 高尾台自主防災会の説明
  - 2-1. 生きた自主防災会構築と規約改訂の流れ
  - 2-2. 高尾台自主防災会規約改正のポイント
  - 2-3. 生きた自主防災高尾台の活動内容と目指す方向性
3. 平成 29 年度事業計画
4. 平成 29 年度予算
5. その他

◆会議内容 :

1. 自主防災会メンバー自己紹介  
出席者 6 名がそれぞれ簡単な自己紹介を行いました。
2. 高尾台自主防災会の説明 (説明者 : 清水義博)
  - 2-1. 生きた自主防災会構築と規約改訂の流れ  
平成 7 年結成以来、防災訓練、啓蒙活動を中心に活動して来ましたが、高尾台町会の防災力の強化が必要との観点から平成 28 年 12 月開催の役員会で規約改訂を行ったとの説明を行いました。(添付「配布資料」参照)
  - 2-2. 高尾台自主防災会規約改正のポイント (添付「配布資料」参照)
    - (1) 従来組織の中に、ノウハウ形成のためのスタッフ組織 (「生きた自主防災高尾台」略称 : IDPT) を設置する
    - (2) 組織運営の要として実行委員会を設置する。実行委員は、町会長、各丁目副会長 (3 名)、IDPT メンバーからの推薦 3 名の計 7 名とし、年度計画の実行要領を話し合う 4 月及び次年度計画並びに予算を決定する 12 月の年 2 回開催とする。
    - (3) 各丁目単位の防災力強化の責任者 (班長) を各丁目副会長とする

## 2-3. 生きた自主防災高尾台の活動内容と目指す方向性

(添付「配布資料」参照)

## 3. 平成 29 年度事業計画

(添付「配布資料」参照)

## 4. 平成 29 年度予算

(添付「配布資料」参照)

## 5. その他

### (1) 質疑・応答

Q.副会長は、自動的に IDPT メンバーか？

A.説明した通り、ご本人の自主性が重要であり公募にて入って頂く。副会長の皆さんにも入って頂きたく申し込みフォームを持参しました。

Q.具体的に何をするのか、全く分からない

IDPT が行う活動は、始まったばかりでノウハウも経験知も不足しており具体的にひとつひとつ実行を通して積み重ね、現実に即して育ててゆこうと考えています。今日がそのスタートの日です。一緒に IDPT の活動をしませんか？→「残念ながら、年齢がいており、無理です。」

Q.丁目の班長としての役割も分からないのですが？

A.現時点では、班長さんの役割は、避難所運営の各丁目担当者をまとめる責任者である他は、具体化していません。今後、IDPT の活動により町会の防災力強化のために必要とする丁目毎の取組みを具体化する必要があります。例えば、班別の避難者名簿のフォームは、全戸避難が必要な事態を想定して作られたものですが、お隣の家族構成や寝たきりの方が居られるかは年々変わる可能性があります。全戸避難だけを想定して作成する以外に何か抜けてないか、現実に即して考える必要があります。これまで、考えたこともありません。町会の現実から始めるのは、今日からです。

Q.次回会議は、先ほど説明されたスケジュールの 5 月 27 日ですか？

A.5 月 27 日は、IDPT の会議です。皆さんは、実行委員会メンバーであり、次回実行委員会は 12 月です。

### (2) 土砂災害避難訓練参加意思表示の件

金沢市から伏見台連合町会に対して、土砂災害の可能性のある町会の参加意思の確認依頼があり、高尾台町会は参加するとの意思表示をしました。

開催予定日：平成 29 年 6 月 25 日（日）7 時 00 分～10 時 00 分

### (3) 伏見台自主防災会高尾台町会積立金返還の件

伏見台自主防災会に対して各町会が支出した事業費は、これまで具体的な事業が計画されないまま、積立てられています。川合町会長が連合町会の会議において使う予定が無いなら返還頂きたい旨、坂本連合町会長に申し入れを行った結果、伏見台自主防災会事務局に文書にて申し入れてもらえば返還手続きを行いますとの回答でした。よって、高尾台町会として返還手続きに着手させて頂く予定です。この件、永山さんにて具体化下さい。

### (4) 次回実行委員会開催予定日

12 月開催の高尾台町会 12 月役員会と同日に開催します。

◆添付資料：「平成 29 年度第 1 回実行委員会」（配布資料）

以上

# 平成 29 年度高尾台町会自主防災会

## 第 1 回実行委員会配布資料

開催日：平成 29 年 4 月 15 日（土）18 時 00 分～19 時 00 分

### ◆会議次第：

1. 自主防災会メンバー自己紹介
2. 高尾台自主防災会の説明
  - 2-1. 生きた自主防災会構築と規約改訂の流れ
  - 2-2. 高尾台自主防災会規約改正のポイント
  - 2-3. 生きた自主防災高尾台の活動内容と目指す方向性
3. 平成 29 年度事業計画
4. 平成 29 年度予算
5. その他

### ◆会議資料

2. 高尾台自主防災会の説明（説明者：清水義博）
  - 2-1. 生きた自主防災会構築と規約改訂の流れ

### ◆生きた組織が、なぜ必要か？

金沢市において、平成7年自主防災組織が結成されて以来20年、町会においても自主防災組織が町会役員兼務の形で結成され、防災訓練、防災意識の啓蒙、校下防災マップの作成等を行って来ました。

しかし、

- ①兼務では役員の交代で組織ノウハウが**形成されず**
- ②伏見台校下防災会一員としての活動のみでは**限界が**
- ③自らの家族を守るという視点での知識・情報が**不十分**



**いざ災害が起きた時、大丈夫か？**

## ◆生きた自主防災組織をつくるとは？



自ら動いて町の情報を集める、知る

自ら進んで訓練に参加し

家族、近所の人を助ける力となる



家族で時々話し合う

班単位で毎年、防災について考える

自助共助近助で動く町にする

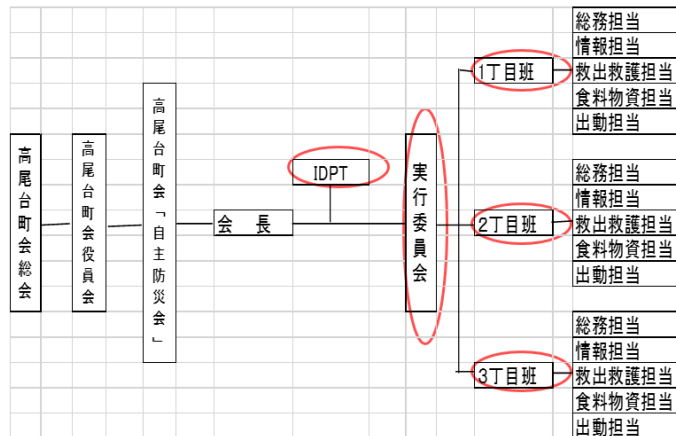


IDPT(略称)  
生きた  
自主防災  
高尾台

4

### 2-2. 高尾台町会自主防災会規約改正のポイント

従来組織の中に、防災知識・ノウハウの蓄積を図り高尾台町会の防災力を高める役割を担うスタッフ組織として「生きた自主防災高尾台(IDPT)」を設置する



従来組織の役割とIDPTの役割:

従来組織の役割: 伏見台校下防災計画への対応に関わる活動

IDPTの役割: 高尾台の現状を把握し高尾台の防災力を高める自主活動

### ◆IDPT活動メンバー:

- ①IDPT活動メンバーは、自主性を重んじ町会会員の皆さまから公募にて募集する
- ②IDPT活動メンバーは、役割の性格上、5年以上協力可能な皆さまとし、65歳(12月31日現在)定年退職制とする。但し、65歳を超えても、ご本人の意思によりサポート・メンバーとしてご協力頂くことを妨げない
- ③IDPT活動メンバー(除くサポート・メンバー)は、町会役員就任を免除し、防災専門に活動するものとする。但し、ご本人に役員兼務の意思ある場合は、そのことを妨げない。
- ④IDPT活動メンバーは、1丁目、2丁目、3丁目それぞれ男性5名、女性5名の合計30名を目処に募集を行うものとする

6

## 2-3. 生きた自主防災高尾台の活動内容と目指す方向性 (略称)Independent Disaster Prevention Takaodai

### ◆IDPT活動方針

私たちのまち高尾台にも、さまざまな災害リスクが潜んでいることを具体的に知ろう、そして想像しよう、その災害が夜中に起きたら、早朝だったら、日中家族が学校や会社で自分ひとりだったら！今、正しい知識を身につけよう、今、家族や近所の人たちと話をはじめよう！そして、身につけよう、災害から身を守る力を！今

### ◆IDPT活動内容

1. 知る
2. つくる
3. 伝える

7

### ◆IDPT活動内容(詳細)

活動1. 知る 担当責任者:清水義博

- (1)危険を知る(断層・土砂崩れ・水害危険箇所・避難基準)
- (2)役割を知る(市・ブロック・連合町会・町会・班・近所・家族・自分)
- (3)備えを知る(連絡網・備蓄・避難経路・避難所・台風・地震・雪害)
- (4)課題を知る(いつ、誰が、何を、どうやって)

活動2. つくる 担当責任者:永山順一

- (1)組織をつくる
- (2)規約をつくる
- (3)危険箇所マップをつくる
- (4)行動マニュアルをつくる(町会編・班編・家庭編・個人編)
- (5)避難所運営マニュアルをつくる(高尾・高尾新・上高尾・高尾台)

活動3. 伝える 担当責任者:橋場健次

- (1)危険を伝える
- (2)役割を伝える
- (3)備えを伝える

8

## 3. 平成29年度事業計画(説明者:永山順一)

1. 活動方針				
活動初年度である29年度は、「高尾台町会自主防災会」組織内での自らの役割を自覚し、IDPTの活動自体を町会会員の皆さまに理解頂くことを基本方針と致します。				
IDPTの役割: 伏見台校下防災会の一員として活動する高尾台町会自主防災会スタッフ組織として会長を補佐すると共に、町会の現状を把握し町会の防災力を高め、防災専門家の育成、発掘を行う				
2. 活動計画				
①「知る」				
(1)金沢市の防災計画を知る				
(2)第3ブロックの役割を知る				
(3)伏見台校下自主防災会の役割を知る				

②「つくる」

- (1) 組織運営のあり方をつくる(実行委員会/各丁目部会/専門部会の  
開催・運営を考え、試行する)
- (2) マニュアルのあり方をつくる(種別ニーズ/作成に必要な情報/会員のニーズ/  
スマホの活用/その他 を考え、試作する)

③「伝える」

- (1) ”現代版「稲むらの火」を高尾台町会内に灯す”ために何をすべきかを考え試行する  
例: 班別向こう三軒両隣懇談会の開催  
自ら動く、自ら守ることの大切さを理解頂き、情報として何を伝えるべきか話し合っ  
てもらい最後にIDPT募集説明を行い、懇親しコミュニティーの形成を図ります
- (2) 会員の皆さんが必要としている情報を取りまとめ次年度「知る」活動に活かす

平成 29 年度 (2017 年) 年間スケジュール :

	高尾台町会自主防災会活動計画	生きた自主防災高尾台活動計画	IDPT日程
4月	H29年度第1回実行委員会(案)4月15日(土)	H29年度第1回IDPT会議	4月1日(土)
5月	水消火器訓練(@バーベキュー会場)	第1回「向こう三軒両隣」実行委員会	5月27日(土)
6月		第1回向こう三軒両隣防災懇談会	6月4日(日)
7月		H29年度第2回IDPT会議	7月1日(土)
8月		第2回向こう三軒両隣防災懇談会	8月27日(日)
9月		H29年度第3回IDPT会議	9月30日(土)
10月	防災倉庫棚卸	第3回向こう三軒両隣防災懇談会	10月22日(日)
11月	4町会合同防災訓練	H29年度第4回IDPT会議	11月18日(土)
12月	H29年度第2回実行委員会(役員会と同日?)	第3回防災士育成講座町会推薦者受講(予定)	12月
1月			
2月		第5回防災士育成講座町会推薦者受講(予定)	2月
3月			

4. 平成 29 年度予算 (説明者: 永山順一)

(収入の部)				
項目	本年度 予算額	前年度 決算見込額	差引増減	適用
高尾台町会自主防災会予算関連費	350,000	108,912	241,088	
合計	350,000	108,912	241,088	
(支出の部)				
項目	本年度 予算額	前年度 決算額	差引増減	適用
IDPT全体会議懇談会補助	100,000	78,912	21,088	1,000円×25人×4回
班別向こう三軒両隣懇談会補助	100,000	0	100,000	1,000円×25人×4回
防災マニュアル試作費	30,000	0	30,000	
防災士男女各1名(計2名)育成費	16,000	0	16,000	(育成講座受講料+登録料)×2
防災訓練費	80,000	30,000	50,000	
予備費	24,000	0	24,000	
合計	350,000	108,912	241,088	